

牢屋のおやつ1 ぴかぴか脱獄決意編

江戸っ子マジシャン

今田きた

呼んだから咲いてしまった心持ち江戸っ子マジシヤンガールの起床
東京に生まれてみせた手妻師の時代交換トリックとして

お幽黒の可能性¹⁾とゆめぐらとるのリップティイン²⁾をどうしたためす

フロフコは(Offline)はまごころを受けたお縄の種類を載せた

湯豆腐のやわらかいほじわいのほじわいは菴茹で世代の母の影響

皿のある時代に生きて皿洗う運命だった江戸のわたしも

ゆらめいてくれない蛍光灯からは未読の数も見破られそう

見せかけの郷愁 けれど行燈はとくとくとおくと灯った、かつて

人生に種も仕掛けも欲しかったシルクハットを通販で買う

紙ぶさ呼び出すように開ける窓 ひかりの牢屋としての生きかた

残り火

夜片なぞ

呼んだから咲いてしまった心持ち 花弁はあなたのためにはなく

なるものじゃなく患者にはされるもの おくすり手帳の幼児向けの絵

もつなやむことはないのよ残り火が僕なら燦けた竜のあなた

駅前の排除ベンチに座りこむ死んだら楽なことか

通常は鶏卵くらいの大きさの子宮は互いにただあるだけの

火のような涙が服に染みるまま鎮火のように抱きしめている

秋の陽のなかを歩いた生理用ナプキンを黒い袋に詰めて

火葬した骨には色がつくように僕に抱きしめられてあなたは

脱獄ができない日々の手ごわりを示さず光熱費の請求書

花弁ごと燃え尽きるまであなたこのひかりの牢屋としての生きかた

祭日

合同作品

掛け布団カバーとともにからだから中身はずれて動けない朝

叱られることだってする叱ってキーン日切れの牛乳を飲む

誕生日、という気がした快速の中で誰かを祝いたかった

ひそやかなイチヨウ並木で落ち葉ならふんでも入いきだよスニーカー

ひかりとはひかりを弱くさせるもの唇の冷蔵庫をひらきつつ

バイト後の疲れた足で一切れのチーズケーキの焼き目を買った

ろうそくを刺せばケーキは傷ついて泣きそくなった気持ちのようです

空き箱に灯った一軒家の記憶 こぼれ落ちないように置んだ

祭日じゃなくなつて縫う、日々を縫う、脱ぎ散らかした服を集める

コンビニの弁当をげて目指すのはパンダのみよみよん揺れる公園

今田きた

1)1は現代短歌会所属。モンブラン。

X(@imada_came)

夜片なぞ

1)1は現代短歌会所属。牛乳をミンチで色こぼす。

X(@azisai_nagi)